

令和3（2021）年度 とちぎスマート林業推進事業

令和3（2021）年12月13日（月）
第1回とちぎスマート林業推進協議会

1. 未来技術社会実装事業について

2. とちぎスマート林業推進協議会

3. スマート林業推進事業の位置づけ

4. スマート林業取組状況（中間報告）

5. 情報発信及び今後のスケジュール

1. 未来技術社会実装事業について

2. とちぎスマート林業推進協議会

3. スマート林業推進事業の位置づけ

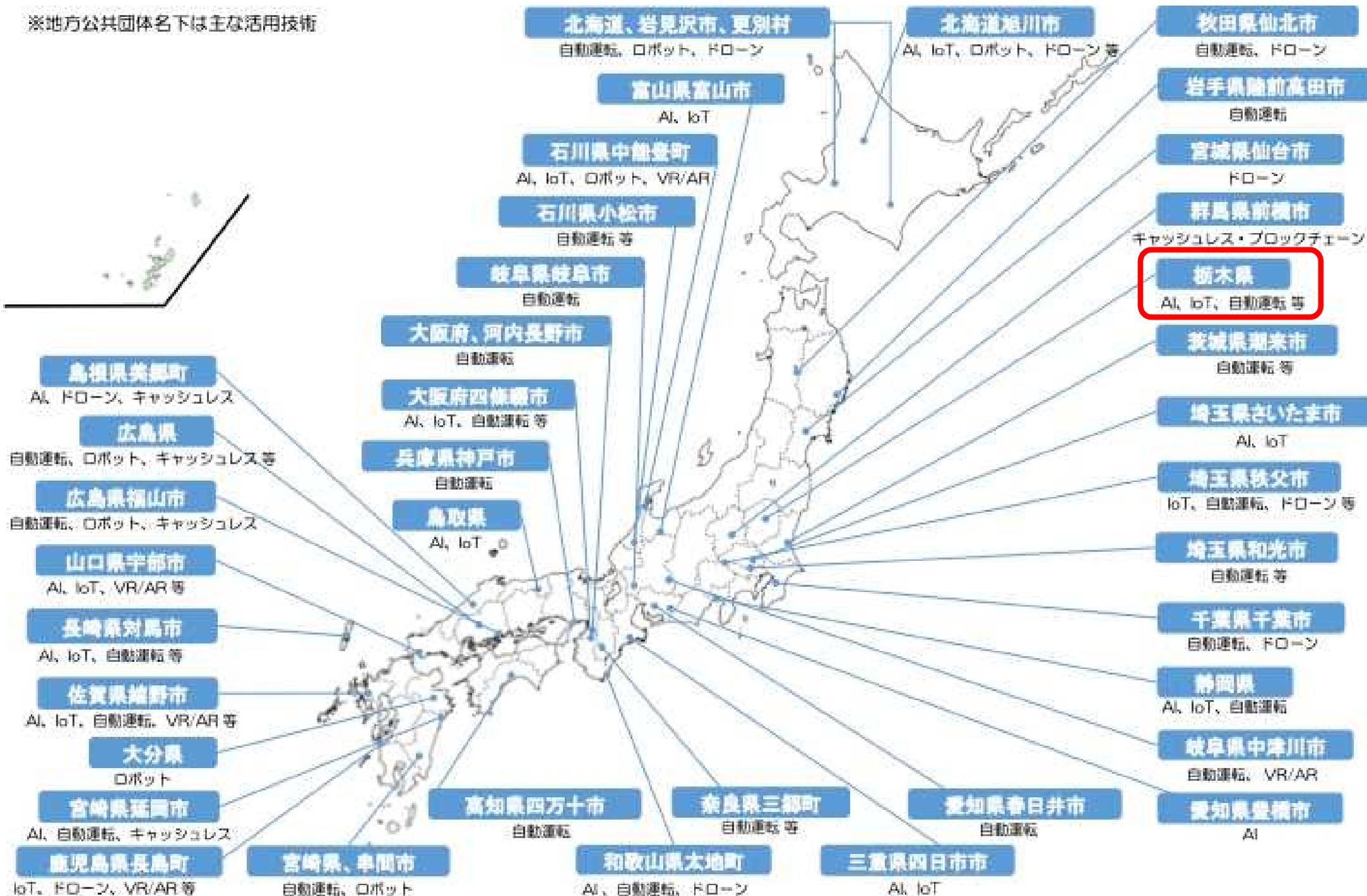
4. スマート林業取組状況（中間報告）

5. 情報発信及び今後のスケジュール

未来技術社会実装事業 一覧

R3.8.24時点

※地方公共団体名下は主な活用技術



スマート林業

明るい未来への決め手に

林業にAI人工し計画を策定。5年間の事業計画を策定。5年間の事業計画を策定。5年間の事業計画を策定。

2020.8.27 下野新聞

レスチナ人を忘れるな

9年度、過去最多だった。だが成長産業とし、振興を図つていく。このた分野とも協働して活用を進めたい。

ナツエビネ 木立の舞台

塩谷で群生。塩谷町船生のシヤタケ農家大島正志さん(89)方の山林でナツエビネが咲き、木の下園を彩っている。

下野新聞

しもつけ 宇都宮市昭和617日8番11号 発行所 電話 028-625-1111 下野新聞社

WING acadie 商業施設用フロントサッシ ウィングファサード

きょうの天気 那須 30/16 那須原 32/22 大田原 34/23 那須烏山 33/23 日光 31/21 中宮祠 27/16 宇都宮 34/24 鹿沼 32/23 真岡 33/24 山木 34/25 小橋 33/25 野利 34/25 戸橋 31/24 水前 36/25

スマート林業「展開へ」

伐採、造林など自動化

AI人工知能やIoTモノのインターネットなどを林業に活用する県のいちぎの林業イノベーション事業が18日までに内閣府の「未来技術社会実装事業」に選ばれた。

国「未来技術実装」に選出

「スマート林業」で想定される主な事業 森林資源情報の把握 生産管理 伐採、集材などの現場作業

県は林業イノベーション事業の主な内容として、①森林資源情報のデジタル化・可視化の生産管理のICT(情報通信技術)化②自動化による労働負荷軽減③自動伐倒作業車や自動集材

家賃支援 6月過去最多

コロナ困窮増で3.5万件

収入減や失業により困窮者が相次いだことを契機とした家賃補助する住居確保給付金の支給決定件数が急激に増加している。

9年度、過去最多だった。だが成長産業とし、振興を図っていく。このた分野とも協働して活用を進めたい。

融資枠 400億円に拡大 コロナ対策 中小支援へ



塩谷町船生のシヤタケ農家大島正志さん(89)方の山林でナツエビネが咲き、木の下園を彩っている。



1. 未来技術社会実装事業について

2. とちぎスマート林業推進協議会

3. スマート林業推進事業の位置づけ

4. スマート林業取組状況（中間報告）

5. 情報発信及び今後のスケジュール

関係団体・民間企業等

県森林組合連合会
県山林種苗緑化樹協同組合
県林業振興協会

**林業
事業体**

- ・(株)栃毛木材工業
- ・那須町森林組合
- ・たかはら森林組合

県木材業協同組合連合会

製材工場

- ・二宮木材(株)
- ・渡良瀬林産(株)
- ・(株)ヤマサンワタナベ

測量会社

・(株)パスコ栃木支店

林業機械メーカー

・(株)小松製作所

栃木県
未来技術地域実装協議会
～とちぎスマート林業
推進協議会～

地方公共団体

栃木県
宇都宮市・足利市・佐野市・
鹿沼市・日光市・真岡市・
大田原市・矢板市・那須塩原市・
塩谷町・那須町・那珂川町

大学等研究機関

- ・国立大学法人宇都宮大学
工学部基盤工学科
農学部森林科学科
- ・栃木県林業センター

ハンズ
オン
支援

国

現地支援責任者
林野庁関東森林管理局

関係省庁

林野庁・農林水産省・国土交通省・総務省

< 協議会 >

- 会長：宇都宮大学 松英准教授
- 副会長：県森連 江連会長・県木連 東泉理事長
- 構成員（34団体）

森林情報高度化WG

【目的】

スマート林業の基盤となる森林資源情報の高度化・可視化

【取組内容】

- ①航空レーザーを活用した計測
- ②資源（材積等）・地形解析

【構成】

民間（測量会社），国（林野庁、国土地理院），県（森林整備課等）

未来技術導入・検証WG

【目的】

労働生産性の向上を図るための、未来技術の実証

【取組内容】

- ①未来技術による労働生産性向上の実証
- ②未来技術を活用した生産工程の普及

【構成】

民間（林業団体・事業体、林業機械メーカー），
国（林野庁・総務省），県（林業木材産業課等）

生産管理ICT化WG

【目的】

需給ミスマッチを解消するための、生産管理のICT化

【取組内容】

- ①生産管理システムの基礎調査
- ②システムの構築

【構成】

民間（林業団体・製材業団体），
国（林野庁），県（林業木材産業課等）

効果・検証：林業センター、各出先事務所

実装・普及

- 事務局：環境森林政策課環境立県戦略室・総合政策部デジタル戦略室・産業政策課次世代産業創造室
...総合的な企画調整、普及啓発、協議会運営

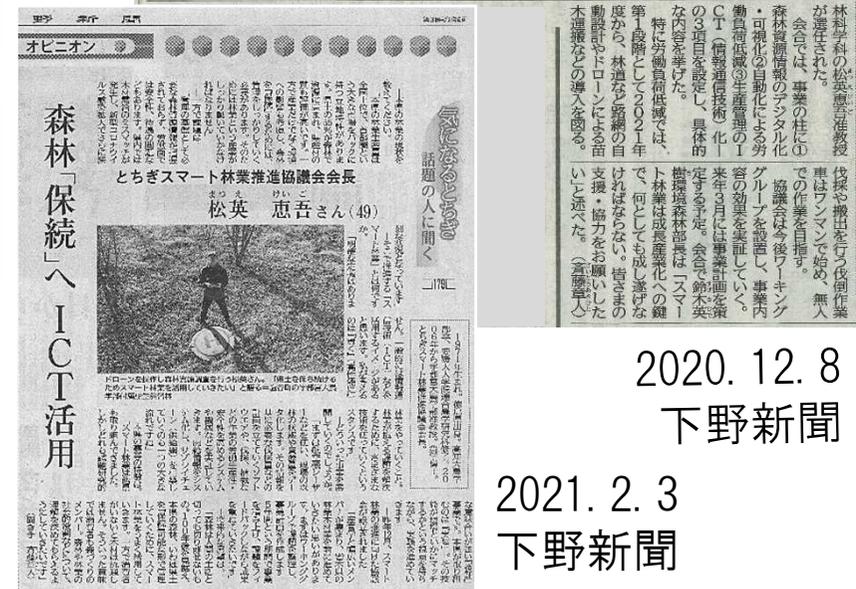
とちぎスマート林業推進協議会

- ✓ 令和2(2020)年12月7日(月)に県公館にて第1回とちぎスマート林業推進協議会を開催
 - ・ 協議会会員、事務局等およびオブザーバー等含め、63名が出席
 - ・ **会長・副会長が選任**され、協議会規約・事業の概要が承認され、事業の3本柱に沿って**3つのワーキンググループ**（以下WG）で構成することとなった
- ✓ 令和3(2021)年3月25日(木)にWEB会議形式で第2回協議会を開催
 - ・ 各WGにて検討された工程をベースに次年度以降の**全体計画（ロードマップ）**を承認

2020. 12. 7
第1回



2021. 3. 25
第2回



2020. 12. 8
下野新聞

2021. 2. 3
下野新聞

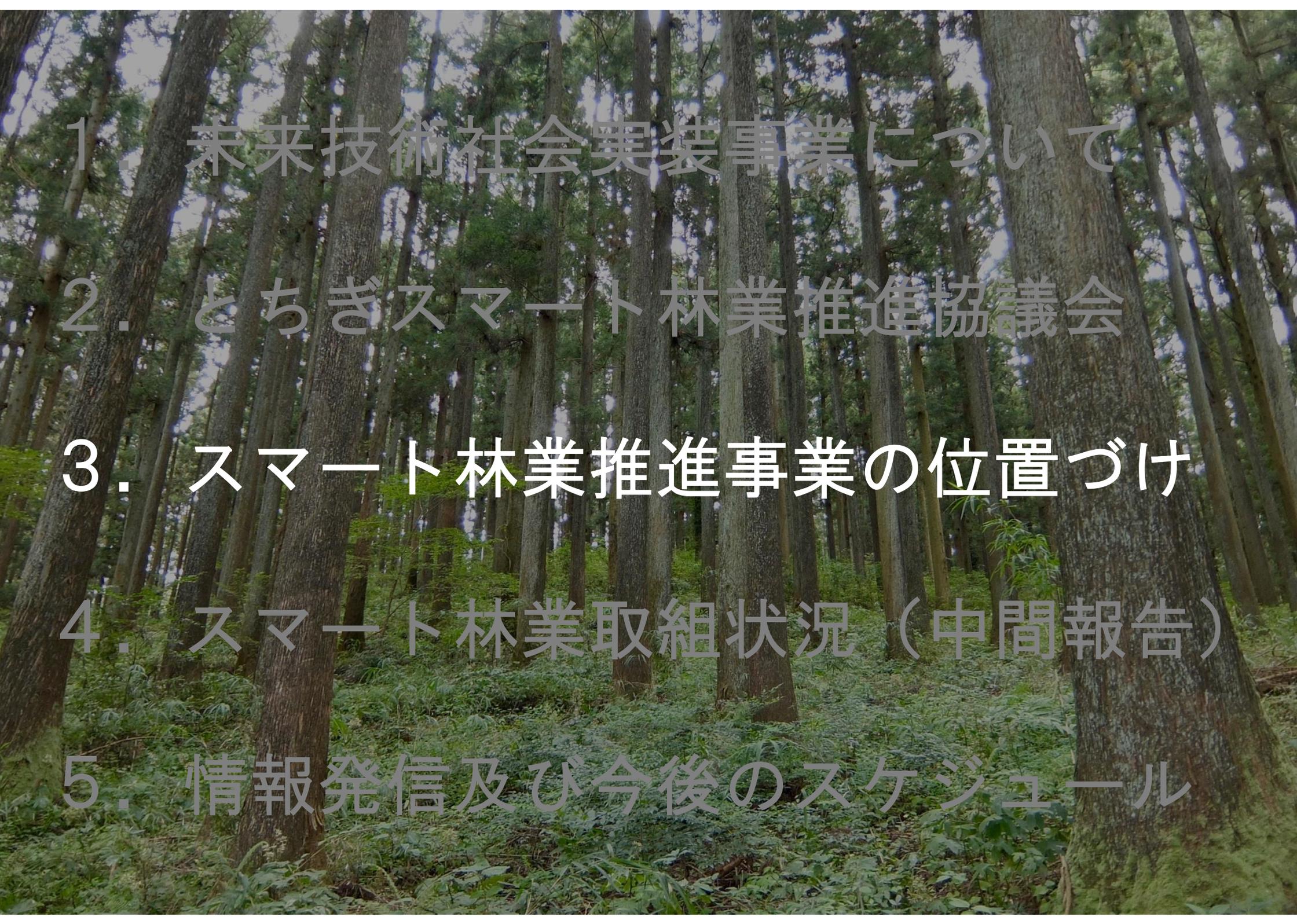
とちぎスマート林業推進事業 ロードマップ



実用段階の機械から導入試験を段階的に実施



導入効果が実証されたものから順次実装

- 
1. 未来技術社会実装事業について
 2. とちぎスマート林業推進協議会
 3. スマート林業推進事業の位置づけ
 4. スマート林業取組状況（中間報告）
 5. 情報発信及び今後のスケジュール

とちぎ森林創生ビジョン

～とちぎの元気な森を100年先の未来へ～

とちぎ森林創生ビジョン



とちぎの元気な森づくり

—— 見直そう「森と木の文化」引き継ごう「とちぎの元気な森」 ——



“稼げる林業”
の実現



“災害に強い森づくり”
の推進



“次代を担う人材”
の育成



“スマート林業”
の推進

計画期間：令和3(2021)年度～令和7(2025)年度

栃
木
県



令和3(2021)年3月
栃 木 県

第3章 重点施策

○ 3つの重点施策と共通施策のもと、15の取組によりビジョンを推進します。

重点施策・共通施策

重点施策1

林業・木材産業の産業力強化
～“稼げる林業”の実現～

重点施策2

森林の公益的機能の高度発揮
～“災害に強い森づくり”の推進～

重点施策3

森林・林業・木材産業を支える
地域・人づくり
～“次代を担う人材”の育成～

共通施策

未来技術を活用した産業への進化
～“スマート林業”の推進～

取組

- 1 素材生産力の強化
- 2 木材の安定需給体制の構築
- 3 とちぎ材の競争力強化
- 4 きのご等特用林産物の競争力強化
- 5 多様で健全な森づくりの推進
- 6 治山対策の推進
- 7 森林所有対策の推進
- 8 野生獣の適正な管理と獣害対策の推進
- 9 次代を担う林業人材の確保・育成
- 10 魅力ある雇用・労働環境の充実
- 11 子どもたちへの森林・林業の学び場の創出・魅力発信
- 12 様々な主体による森づくり活動及び森林空間利用の促進
- 13 森林資源情報のデジタル化・見える化
- 14 生産管理のICT化
- 15 自動化等による労働生産性・安全性の向上

3 栃木県林業人材確保・育成システム

- ✓ 「栃木県林業人材確保・育成システム」を構築し、次の取組を行う
 - ① 高校や大学等と連携し、林業に加え、製材や木材流通等、幅広い知識・技能を習得した多様な人材を育成
 - ② 就業前研修に加え、既就業者のスキルアップ研修等、総合的・体系的な人材の育成
 - ③ **スマート林業の推進に資する人材を研究機関と一体となって育成**
 - ④ 林業大学校への入校から、就業・就労までの支援に加え、生涯働き続けられる環境づくりを推進

栃木県林業人材確保・育成システム

